

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科 理科 科目 物理基礎 単位数 2 単位  
対象学年組 第 2 学年 1 組～ 6 組  
教科担当者 ( 1 組：永嶺 ) ( 2 組：永嶺 ) ( 3 組：永嶺 ) ( 4 組：椎名 ) ( 5 組：永嶺 ) ( 6 組：椎名 )  
使用教科書 ( 高等学校 新物理基礎 (第一学習社) )

教科 理科 の目標：  
【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。  
【思考力、判断力、表現力等】物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付ける。  
【学びに向かう力、人間性等】物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	力と運動の法則 【知識及び技能】 質量から重力の大きさを計算でき、質量と重力の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 力の3要素(大きさ、向き、作用点)に注意し、重力、垂直抗力、摩擦力、張力、弾性を正しく図示することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において、中学校での学習内容を思い出しなが見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとする。	・指導事項：物体にさまざまな力がはたらくことや力のつりあいの条件を理解する。  ・教材：新物理基礎  ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 質量から重力の大きさを計算でき、質量と重力の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 力の3要素(大きさ、向き、作用点)に注意し、重力、垂直抗力、摩擦力、張力、弾性を正しく図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において、中学校での学習内容を思い出しなが見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	物体の運動 【知識及び技能】 移動距離と変位の違いを理解し、直線運動だけでなく、日常での運動と結びつけて移動距離や変位を求めることができる。また、平均の速度を計算したり、瞬間の速度をグラフから求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフから、運動のようすを読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとする。	・指導事項：変位や速度など物体の運動の基本的な表し方について直線運動を中心に理解する。  ・教材：新物理基礎  ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 移動距離と変位の違いを理解し、直線運動だけでなく、日常での運動と結びつけて移動距離や変位を求めることができる。平均の速度を計算したり、瞬間の速度をグラフから求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 等速直線運動のx-tグラフやv-tグラフから、運動のようすを読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	11
	仕事とエネルギー 【知識及び技能】 仕事の定義を理解しており、物体に加えた力、重力、垂直抗力、摩擦力など、さまざまな力がする仕事を計算することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 力の向きと運動の向きを考慮し、仕事の正、負、0の区別をつけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとする。	・物理における仕事を学び、仕事の原理を理解する。運動エネルギーと位置エネルギーについて仕事と関連付けて理解する。  ・教材：新物理基礎  ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 仕事の定義を理解しており、物体に加えた力、重力、垂直抗力、摩擦力など、さまざまな力がする仕事を計算することができる。 【思考・判断・表現】 力の向きと運動の向きを考慮し、仕事の正、負、0の区別をつけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各項目の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

